

鉄棒

鉄棒で滑り込み「メチャうれしい」

21歳

次男ゆうすけ
 ① 順大 1989年11月29日
 ② 和歌山市 7歳
 ③ 和歌山北高 順大
 ④ 和歌山北高 順大
 ⑤ 和歌山北高 順大
 ⑥ 和歌山北高 順大
 ⑦ 和歌山北高 順大
 ⑧ 07年国際少年少体協
 ⑨ 07年国際少年少体協
 ⑩ 07年国際少年少体協
 ⑪ 07年国際少年少体協
 ⑫ 07年国際少年少体協
 ⑬ 07年国際少年少体協
 ⑭ 07年国際少年少体協
 ⑮ 07年国際少年少体協
 ⑯ 07年国際少年少体協
 ⑰ 07年国際少年少体協
 ⑱ 07年国際少年少体協
 ⑲ 07年国際少年少体協
 ⑳ 07年国際少年少体協



栄光のアテネ五輪組も絶賛

富田チー「一級品」

○：佑典が所属する順大のコーチで、元世界王者の富田洋之氏も力がついてきた。厳しい練習も苦にならな

地元の世界選手権に向き、最高のメンバーがそろった。鉄棒だけでな床でも高得点が期待で

田中佑がいったのは、最大のコーチは「一級品」。日本男子が78年以来33年ぶりの団体メダルを目指すのに十分な力になる」と絶賛していた。



米田功

「美しい」3人

理

総合2位、弟の演技を見て泣いた

24歳

長女りえ
 ① 日体大大学院 1987年6月11日
 ② 和歌山市 6歳
 ③ 和歌山北高 日体大
 ④ 和歌山北高 日体大
 ⑤ 和歌山北高 日体大
 ⑥ 和歌山北高 日体大
 ⑦ 和歌山北高 日体大
 ⑧ 10年世界団体5位
 ⑨ 10年世界エリガンス賞
 ⑩ 10年ア大会団体銀
 ⑪ 10年ア大会個人銅
 ⑫ 10年ア大会個人銅
 ⑬ 10年ア大会個人銅
 ⑭ 10年ア大会個人銅
 ⑮ 10年ア大会個人銅
 ⑯ 10年ア大会個人銅
 ⑰ 10年ア大会個人銅
 ⑱ 10年ア大会個人銅
 ⑲ 10年ア大会個人銅
 ⑳ 10年ア大会個人銅



中村3兄弟 佳央・行成・兼三

五輪に同時出場したのは柔道の中村3兄弟が唯一。96年アトランタ大会95kg級に長男佳央、65kg級に次男行成、71kg級に三男兼三が出演、兼三が金、行成が銀メダルを獲得した。最近では興毅、大毅、和毅のボクシングの亀田3兄弟、俊幸、善朗、大輔がともに年代別サッカー日本代表入りした高木3兄弟などが活躍。男女ではレスリングで世界女王になった美愛、聖子とK-1王者となった徳郁の山本3きょうだい、聖志、優作、藍がプロで活躍するゴルフの宮里3兄妹などがある。



定岡3兄弟 智秋・正二・徹久

定岡3兄弟、智秋、正二、徹久。定岡3兄弟、智秋、正二、徹久。定岡3兄弟、智秋、正二、徹久。



山本3姉弟 美愛・徳郁・聖子

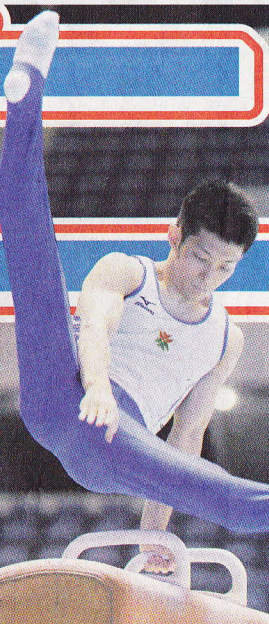
山本3姉弟、美愛、徳郁、聖子。山本3姉弟、美愛、徳郁、聖子。山本3姉弟、美愛、徳郁、聖子。

和

総合2位、緒のチームで戦える

26歳

長男かずひと
 ① 徳洲会 1985年5月16日
 ② 和歌山市 6歳
 ③ 和歌山北高 日体大
 ④ 和歌山北高 日体大
 ⑤ 和歌山北高 日体大
 ⑥ 和歌山北高 日体大
 ⑦ 和歌山北高 日体大
 ⑧ 07年ユニバ団体金
 ⑨ 09年世界個人4位
 ⑩ 09年世界平行棒銅
 ⑪ 10年世界団体銀
 ⑫ 10年世界団体銀
 ⑬ 10年世界団体銀
 ⑭ 10年世界団体銀
 ⑮ 10年世界団体銀
 ⑯ 10年世界団体銀
 ⑰ 10年世界団体銀
 ⑱ 10年世界団体銀
 ⑲ 10年世界団体銀
 ⑳ 10年世界団体銀



すく、すく。ガミオリジナル

田中佑は「金メダルを取ります」と宣言した。アテネ五輪の前、我々が「金メダルを目指します」としか言えない中、唯一大學生の中野大輔が「取ります」と言っている。アテネ五輪団体金メダリスト、日刊スポーツ評論家

最後の鉄棒が終わると、何度目も右手を突き上げた。すでに理恵は女子個人総合2位に入り世界選手権代表候補入りを決めていた。和仁も男子個人総合2位で3大会連続出場を決めた。右手首の影響で佑典は全6種目で争う個人総合での代表入りはあきらめ、種目別ポイントでの代表入りに切り替えた。得意の鉄棒で7点を獲得。最後の6人目の代表に滑り込んだ。「初代表だけでなく3人で行ってめっちゃうれしい」。

章二さんと観客席で見守る。団体メダルの可能性は十分にある。田中佑の魅力は「力強さを兼ね備えた美しさ」にある。和仁も理恵も武器は美しさ。父親が基本を徹底して教えたからだろう。普通の指導者は、勝つために高難度な技を教えたくなるもの。しかし、田中きょうだいは結果を急がず、美しさに焦点をあてた指導を受けた。それが強みになった。かつて体操は美しさを競う競技だった。採点方法の変更などで技が求められるようになったが、見直され始めている。東京から日本の美しさを世界に見せることで、流れは加速する。先輩たちが築いてきた体操ニッポンの美しさ。内村、田中きょうだいならば、団体の金奪回だけでなく、来年の五輪に向けて採点の傾向まで変える力がある。代表決定後の会見で、田中佑は「金メダルを取ります」と宣言した。アテネ五輪の前、我々が「金メダルを目指します」としか言えない中、唯一大學生の中野大輔が「取ります」と言っている。アテネ五輪団体金メダリスト、日刊スポーツ評論家